

共生社会の形成に向けて 特別支援教育の推進

特別支援教育の推進の背景

平成19年4月に改正学校教育法が施行され、障がいをもつ幼児・児童・生徒の教育が「特殊教育」から「特別支援教育」となり、教育体制に大きく変化が起きました。

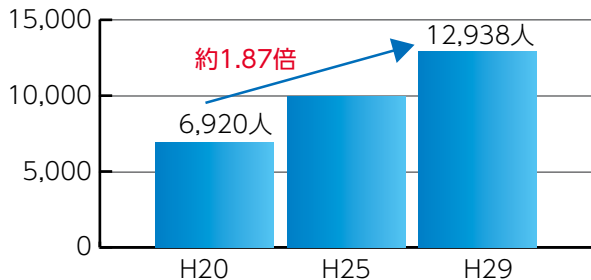
平成20年から平成29年までの間に、全道の小・中学校の「特別支援学級」や「特別支援学校」に在籍する児童生徒数と「通級による指導」※2を受ける児童生徒数が10年前から大幅に増加しています。

これは特別支援教育に対する理解の深まりを背景に、障がいの状態に応じた専門性の高い教育を受けたい、受けさせたいというニーズが年々高まっていることによるものと考えられます。

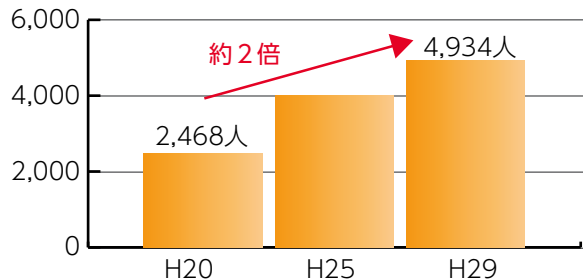
「特殊教育」から「特別支援教育」へ

従来の「特殊教育」は、障がいの種類や程度に応じて特別な場で手厚い教育を行うことに重点が置かれていましたが、法改正後の「特別支援教育」は「発達障がい」※1など、障がいのある子ども一人一人の教育的ニーズに応じ、生活や学習上の困難を改善または克服するための支援を行うことに重点を置いた教育を行うものです。

●道内の小・中学校「特別支援学級」に在籍する児童生徒数



●道内の「通級による指導」を受ける児童生徒数



※1「発達障がい」

下記のような障がいを総称して「発達障がい」と呼んでいます。発達障がいのある子どもは、障がいによる困難を抱えていますが、優れた能力を発揮する場合もあります。早期から適切な支援を受けることにより、状態が改善することも期待されます。主な発達障がいの一般的な特徴は次のとおりですが、個人によってさまざまな特徴があります。

- ・ 限局性学習症……………全般的な知的発達に遅れはありませんが「読む・書く・算数」などの能力のうち、特定の分野に極端（LD）に苦手な側面が見られます。
- ・ 注意欠如多動症……………注意力や衝動性、多動性などが年齢や発達に不釣り合いで、社会的な活動や学業に支障をきたすことがあります。（ADHD）
- ・ 自閉スペクトラム症…相手の気持ちを察することや周りの状況に合わせたりすることが苦手であったり、特定のものにこだわる傾向が見られます。

※2「通級による指導」（通級指導教室）

通常の学級に在籍しながら、一部の時間だけ特別な場で、自立に向けた教育を受けることができる制度で平成5年度から制度化されました。基本的に、言語障がい、自閉症、情緒障がい、弱視、難聴、LD、ADHDを対象としています。

本町では「別海町教育総合ビジョン」の下、各学校への支援、関係機関との連携等を進め、特別な教育支援を必要とする幼児・児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援の充実により、全ての子どもたちが、障がいの有無に限らず多様な個性を互いに認め合い、支え合いながら、共に学んでいくことができる環境づくりとともに、誰もが生き生きと活躍できる「共生社会」の形成に向けて、特別支援教育を推進していきます。

◎次回は、本町の「特別支援教育」について紹介します。

5月から6月初旬までの主な学校行事

- ◆5月25日(土) 上春別小中学校合同運動会、中央中学校体育祭、西部地区マラソン大会
- ◆5月27日(月) 野付半島グリーン作戦および津波想定避難訓練（野付中学校）
- ◆6月1日(土) 上風連小中学校合同運動会、西春別小学校運動会、中西別小学校運動会
- ◆6月2日(日) 野付小学校運動会、中春別小学校運動会
- ◆6月3日(月) 中西別中学校・授業参観週間
～7日(金) ⇒地域の皆さんにも公開しています。
- ◆6月6日(木) 中春別中学校マラソン大会
- ◆6月8日(土) 上西春別小学校運動会
- ◆6月9日(日) 別海中央小学校運動会





平成30年度中学校卒業生の進路

別海高校への進学 91人(59.9%)

平成30年度の町内中学校卒業生は、総数152人でした。

根室管内への進学は、地元の別海高等学校に91人と一番多く、次いで中標津高等学校8人、中標津農業高等学校、中標津高等養護学校へそれぞれ4人、標津高等学校へ1人の計108人で、進学者全体の71.1%となりました。

釧路管内への進学は、釧路湖陵高等学校を含めた9校に21人が進学しました。

根室、釧路管内以外の高校への進学は、とわの森三愛高等学校、北星学園女子高等学校、小樽水産高等学校、帯広柏葉高等学校、駒澤大学附属苫小牧高等学校へそれぞれ2人、札幌国際情報、美唄聖華、千歳、札幌大通、札幌旭丘、札幌大谷、札幌山の手、札幌創成、札幌龍谷、北星学園、文教大明清、函館白百合、北海道科学大学高等学校へそれぞれ1名ずつとなっています。

根室・釧路管内高校等への進学状況

地 域	高校名	学 科	人 数	
根 室 108人 (71.1%)	別 海 高 等 学 校	普 通 科	84	91人 (59.9%)
		酪 農 経 営 科	7	
	中 標 津 高 等 学 校	普 通 科	7	8人 (5.3%)
		商 業 科	1	
	中 標 津 農 業 高 等 学 校	食品ビジネス科	3	4人 (2.6%)
		生 産 技 術 科	1	
	中 標 津 高 等 養 護 学 校	木 工 科	3	4人 (2.6%)
		生 活 家 庭 科	1	
標 津 高 等 学 校	普 通 科	1	1人 (0.7%)	
釧 路 21人 (13.8%)	釧路湖陵高等学校	普 通 科	7	8人 (5.2%)
		理 数 科	1	
	釧路江南高等学校	普 通 科	1	1人 (0.7%)
	釧路北陽高等学校	普 通 科	3	3人 (1.9%)
	釧路明輝高等学校	総 合 学 科	1	1人 (0.7%)
	釧路工業高等学校	建 築 科	1	1人 (0.7%)
	武 修 館 高 等 学 校	体 育 コ ー ス	1	1人 (0.7%)
	釧路工業高等専門学校	創 造 工 学 科	2	2人 (1.3%)
	釧路高等養護学校	普 通 科	1	1人 (0.7%)
	標 茶 高 等 学 校	総 合 学 科	3	3人 (1.9%)
釧路・根室管外、その他 23人 (15.1%)			23	23人 (15.1%)
合 計			152人	

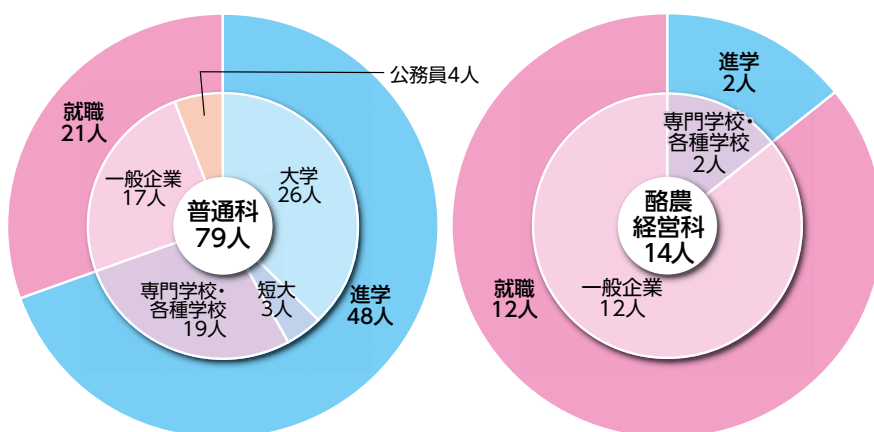


平成30年度別海高校卒業生の進路

別海高等学校卒業生は、普通科79人、酪農経営科14人、合わせて93人で、進学、就職へ期待と希望を抱きそれぞれの道に進んでいます。

普通科では、48人が進学し、内訳は、大学26人、短大3人、専門学校・各種学校19人となり、酪農経営科では、専門学校、各種学校へ2人が進学しました。

また、普通科、酪農経営科合わせて33人が就職しています。



問合せ／学校教育・適正化等担当 (内線3513)

生涯学習
出前講座

ふれあいトーク宅配講座のお知らせ



町民の皆さんの「知りたい」「学びたい」に応えるため、また、町民と行政が一体となった「まちづくり」を進めていくために「生涯学習出前講座」を開講しています。

行政に関する「制度や手続き・事業」などについて、担当職員が地域へ出向いてお話をします。

別海町民(5名以上のグループ)

希望する日の**20日前まで**に、下記メニューから希望講座を選び「講師派遣申請書」を提出してください。

受付／問合せ

別海町教育委員会
生涯学習課生涯学習担当
TEL 75-2111(内線3713)
FAX 75-0637

担当課

日時や内容等の調整、資料を作成し、出前講座の準備を進めます。

講座の
実施

【開催時間】 **原則平日**の午前9時から午後9時までの間

【料金】 無料

番号	講座メニュー	担当課	番号	講座メニュー	担当課
1	わかりやすい議会の使い方	議会事務局	28	生活習慣病撃退!! ①身体と病気のメカニズム ②お口の健康について ③食事について	保健課
2	選挙について	選挙管理委員会	29	こどもの健康	保健課
3	町の予算と決算について	財政課	30	「うつ病」について	保健課
4	マイナンバー制度について	総務課	31	祖父母教室「いまどきの妊娠から子育て」	母子健康センター
5	自治基本条例ってなあに?	総合政策課	32	漁業について	水産みどり課
6	なるほど納得! 北方領土	総合政策課	33	林業について	水産みどり課
7	協働のまちづくりについて	総合政策課	34	別海町の野生動物について	水産みどり課
8	友好都市って?	総合政策課	35	酪農畜産について	農政課
9	広報「別海」	総合政策課	36	別海町の観光紹介	商工観光課
10	税のはなし	税務課	37	中小企業振興について	商工観光課
11	認知症サポーター養成講座	介護支援課	38	これからの住宅リフォーム	建築住宅課
12	介護保険制度について	介護支援課	39	いまどきのエコ住宅	建築住宅課
13	高齢者の在宅福祉サービス	介護支援課	40	下水道の整備	上下水道課
14	障がいのある方への各種制度について	福祉課	41	安全な水が家庭に届くまで	上下水道課
15	体験に基づく障がい者理解について	福祉課	42	農業者年金ってなあに?	農業委員会
16	ドキュメンタリー映画「ちづる」上映会	福祉課	43	救命手当ての基本	消防署
17	障害者差別解消法について	福祉課	44	火災から命を守るために	消防署
18	子育て支援と児童手当などの制度について	福祉課	45	なるほど・ザ・べつかい(歴史系) ①昔々のべつかい(別海町の古代) ②幻の町キラクを探る ～野付通行屋跡遺跡の発掘調査から～ ③加賀家文書とは? ④べつかい伝説物語 ⑤西別川の献上鮭について ⑥その他(希望内容により対応可のもの)	郷土資料館
19	介護予防のチェック体験版 ①運動機能向上編 ②物忘れ予防編(おおむね65歳以上)	地域包括支援センター	46	なるほど・ザ・べつかい(自然系) ①巣箱づくり ②野鳥観察 ③化石レプリカづくり	郷土資料館
20	成年後見制度について	地域包括支援センター	47	別海町の文化財について	生涯学習課
21	後期高齢者医療制度について	町民課			
22	戸籍と住民票・年金について	町民課			
23	医療制度について	町民課			
24	リサイクル大作戦	町民課			
25	STOP! 悪徳商法	町民課			
26	食の安心・安全	町民課			
27	犬を飼うということ	町民課			

講座の詳しい内容については、
下記担当にお問い合わせください。
問合せ／生涯学習担当(3713)

別海町 学校開放事業の お知らせ

- 開放期間 令和元年5月1日から令和2年3月31日まで
※令和元年12月25日から令和2年1月7日までは開放を中止します。
- 開放施設 下記に記載されている学校の施設
- 利用対象 町民（団体のみ）
- 開放時間 平日（月曜日から金曜日）午後7時から午後10時までを基準とします。詳しくは各学校に確認してください。

学校名	前年度(H30)利用種目	学校開放主事	学校開放主事補	電話番号(学校)
別海中央小学校	バレー、ソフトバレー、バスケット	稲村 和典	竹村 雅裕	75-2054
中春別小学校	ソフトバレー、バドミントン、バスケット	荒 雅樹	木野内孝正	76-2013
上春別小学校	バレー、ソフトバレー、バドミントン、卓球、フットサル	佐藤 玲子	中野 幸治	75-6364
野付中学校	ソフトバレー、バレー	飯田 雄士	小森 和則	0153-86-2019
上風連中学校	バドミントン、ミニバレー、バスケット	若松 正	鈴木 一浩	75-7302
中西別中学校	ミニバレー、バスケット、野球、ミニテニス	伊藤 秀則	齊藤 則康	75-6631
別海中央中学校	バレー、ソフトバレー、バスケット、空手	相澤 要	三宮 貴史	75-2251

※祝日または学校行事等により開放できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

利用のきまり

- ①利用を希望する団体は必ず各校に登録および申請し、個人利用は不可とします。
- ②利用団体は自主管理を基本とし、体育館の開閉や鍵の管理など責任をもって実施してください。
- ③利用後は必ず清掃し、利用日誌に記入してお帰りください。
- ④施設の備品は大切に使い、万が一破損した場合は速やかに学校開放主事または主事補に連絡してください。
- ⑤原則として4人以上の団体はスポーツ傷害保険に加入してください。
- ⑥学校敷地内での喫煙、飲食は禁止とします。
- ⑦その他、学校開放主事または主事補の指示や注意を守ってください。

■問合せ／

各学校開放事業指定校
TEL 上記「開放指定校一覧」参照
または町教育委員会生涯学習課
社会体育担当 75-2111(内線3711)

プールで心身をリフレッシュ

エンジョイ水中運動レッスン

本年の水中運動レッスンも水曜日に行います。身体に負担の少ない水の中で、仲間と一緒に楽しく身体を動かしましょう。

- 期 間 5月8日から7月24日
(毎週水曜日) 計12回
- 時 間 午後1時15分から午後2時15分
- 場 所 町民温水プール
- 講 師 健康運動実践指導者
- 定 員 町民30名
- 締切日 5月7日(火)
- 参加料 施設使用料のみ
※プールのシーズン券を使えます。
- 持ち物 水着、水泳用キャップ、バスタオル



※その日の血圧が上180/下110を超えた方は教室に参加できません。

※レッスンの強度は体力の低い方に合わせて行います。

問合せ・申込み 別海町総合スポーツセンター

申込みの際は、氏名、年齢、住所、電話番号をお伝えください。

TEL75-2882 FAX75-0418 Eメールsports@betsukai-pf.or.jp

スポーツセンターから

春です。新しいこと、始めましょう。

春のエクササイズ教室

ストレッチポールを使い、身体の歪みを治すことで、安眠や疲労回復などのリラクゼーション効果があるエクササイズを中心に行う教室を開きます。その他、自宅で簡単にできる運動を紹介します。

ストレッチポールとは

一人でも簡単に身体をほぐすことができる運動器具です。

- 日 付 5月8日(水)、10日(金)、15日(水)、
17日(金)、22日(水)、24日(金) 計6回
- 時 間 午前10時30分から午前11時30分
- 会 場 町民体育館2階柔剣道場
- 講 師 田中 こずえ氏
(バレエエクササイズサークル講師)
- 定 員 20名(別海町在住の方優先)
※子どもと一緒に参加可能
(各自の責任でお願いいたします。)
- 締切日 5月7日(火)
(定員に満たない場合は当日参加もできます。)
- 参加料 施設使用料のみ
※体育館のシーズン券を使えます。
- 持ち物 汗拭きタオル、飲みもの